

記入例

様式第7.2

事故届書	一般 液石 冷凍	× 整理番号	
		× 受理年月日	
氏名又は名称 (事業所の名称又は販売所の名称を含む。)	○△ガス販売××営業所		
住所又は事務所(本社)所在地	○△市×○町□-△-○		
事業所所在地	○○市×△町○-△-○		
事故発生年月日	○○年 4月21日		
事故発生場所	○○市××町□-△-○		
事故の状況	別紙のとおり		

○○年×○月○△日

報告書を県に提出する日を記入

代表者 氏 名 □△ ○△

(宛先)
埼玉県知事

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 ×印の項は記載しないこと。
 - 3 事故の状況については、別紙にできるだけ詳細に記載すること。

報告書を県に提出する日を記入

事故等調査報告書 (喪失・盗難)

報告年月日	〇〇年 〇〇月 〇〇日 (〇曜日)		別添: 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
報告書作成者	〇〇△□		前回容器を確認した日~盗難を知った日
事故の呼称	〇〇市における液化石油ガス容器の盗難		
発生年月日	〇〇年 4月15日(〇曜日) ~ 〇〇年 4月21日(〇曜日)		
事故発生場所	所在地: 〇〇市××町〇-△-〇 名称: 〇〇△ 電話 048(830)8439	法区分: 一般則、LP則、冷凍則、コンビ則 [認定事業所:有(認定施設、非認定施設)無]	
連絡者氏名	所属: 〇△配送 埼玉太郎 電話 048(830)1234	場所: 1.石油精製 2.石油化学 3.一般化学 4.冷凍事業所 5.充てん所 6.容器検査所 7.その他 a.民家(居住中) b.民家(空屋) c.公民館等 d.その他(飲食店)	
販売店(事業者)	名称: 〇△ガス販売××営業所 所在地: 〇〇市××町〇-△-〇 電話 048(830)4321		
規制対象別	1.製造事業所 2.冷凍事業所 3.充てん所 4.スタンド 5.販売所 6.貯蔵所 7.移動 8.消費先 9.特定高压ガス消費者 10.容器検査所 11.その他()		
事故発生区分	1.製造中 2.貯蔵中 3.移動中 4.消費中 5.その他()		
事故発生原因	1.盗難 2.自然災害(a.台風 b.地震 c.その他()) 3.その他()		
ガスの種類及び名称			
1.可燃性ガス : 1.アセチレン 2.エチレン 3.液化石油ガス 4.塩化ビニル 5.水素 6.ブタン 7.プロパン 8.プロピレン 9.メタン 10.その他()			
2.毒性ガス : 1.亜硫酸ガス 2.塩素 3.その他()			
3.可燃性毒性ガス : 1.アンモニア 2.一酸化炭素 3.クロルメチル 4.酸化エチレン 5.シアン化水素 6.硫化水素 7.その他()			
4.支燃性ガス : 1.空気 2.酸素 3.その他()			
5.不活性ガス : 1.アルゴン 2.炭酸ガス 3.窒素 4.ヘリウム 5.フルオロカーボン(可燃性ガス又は毒性ガスを除く。) 6.その他()			
6.その他 : 1.混合ガス() 2.エアゾール() 3.特殊高压ガス() 4.その他()			
設備概要	1.容器 2.溶接・溶断機器 3.その他()	ガスの名称 容器の容量 及び本数	LPガス 20kg(m³)× 1本 ガス kg(m³)× 本 ガス kg(m³)× 本
容器の記号番号 ABC-012345			
施錠の有無	1.有 2.無 3.不明	容器交換の頻度	1.(1)月に一度 2.不明

販売店に連絡した者(第一発見者)の所属氏名

前回容器を確認した日~盗難を知った日

事故の概要（事故に至る経緯を含む）

〇〇年4月21日午後17時40分頃、容器交換のため現地へ行った配送会社〇△配送の配送員が消費者宅に設置されている20kgのLPガス容器2本のうち予備側1本が無くなっていることに気づき、販売店である〇△ガス販売××営業所へ連絡を入れた。容器は工具を使ってはずされていた。〇〇年4月15日に検針で消費者宅を訪れたときには、LPガス容器は2本とも存在していた。警察に盗難届提出済。

官公庁で採った措置及び対策

記入しない

事業所側で採った措置及び対策

- ・警察へ盗難届を提出
- ・県化学保安課に事故届書提出

法令違反の有無： 有 無 (条項：)

内容：

官公庁で出した通知文書、新聞等の写し、図面、写真及び所見等

所見：

記入しない

別紙 ()

別紙 ()